

産直屋台いなGOの取組

いなGOの特徴

- 田舎のアンテナショップ
- 原料産地の6次産業化(付加価値創造)
- 中山間地域の総合産地戦略
- 中心市街地の空き店舗対策
- 大学発ベンチャー
- 学生参画

今回の取り組みとは…。

- 事の発端(動機)
中心市街地(福島市)の空洞化の改善
と
農村(伊南地域)の地域活性化
を結びつけて(連携して)行う。
- これまでの伊南地域単独で行う活性化策とは違った活路を見出せるのではないかと！

「地域で生産された農産物を6次産業など、より付加価値を高くした流通」

- 福島県南会津町伊南のアンテナショップとして、伊南地域の素材・情報を発信
- 地域間の交流効果が期待
- 大学生が屋台村へ出店・運営するという性質を利用し、「恒常的な中心市街地への集客を取り戻すこと」
- 「いなGO」の出店により、ふくしま屋台村に新たな客層を呼び込み、それを新たな固定客
- 福島市中心市街地・福島県北地域と広く波及していくことを目標に運営

来客数と売上げの推移

- お盆の時期は来客数が減少

ネットワーク型地域づくりの効果 産直屋台「いなGO」の波及効果

- 福島中心市街地
 - ①新規顧客の開拓へ
 - ②農村との交流活動へ(GT、食育)
- 伊南地区
 - ①マネジメント組織(まちづくりNPO)と担い手法人(農業生産法人伊南の郷)へ
 - ②郷土料理研究会設立へ
 - ③産直活動の組織化へ

産直屋台いなGO・ 街と農村を繋ぐ地域企業

ーネットワーク型地域づくりへの大学・学生参画と
経済・経営・会計の融合による実践教育プログラムー

国立大学法人 福島大学

1

GP:ネットワーク型地域づくりへの大学・学生参 画と経済・経営・会計の融合による 実践教育プログラム

- ・ エリアキャンパス(南会津町)を設定し、恒常的な調査・地域づくり活動を行う



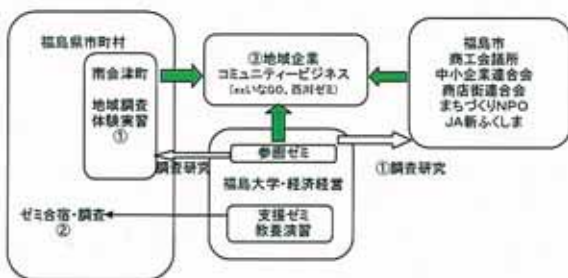
- ・ 調査結果をもとに学生参画型の地域企業を設立・運営する



- ・ 成果発表会を通して全地域的な活動へと拡大する

2

大学・地域の共同事業



3

エリアキャンパス

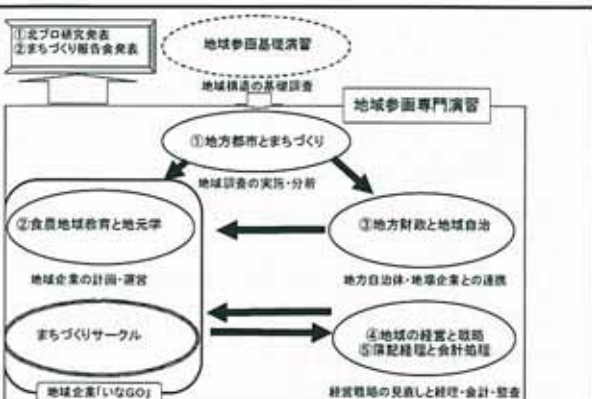
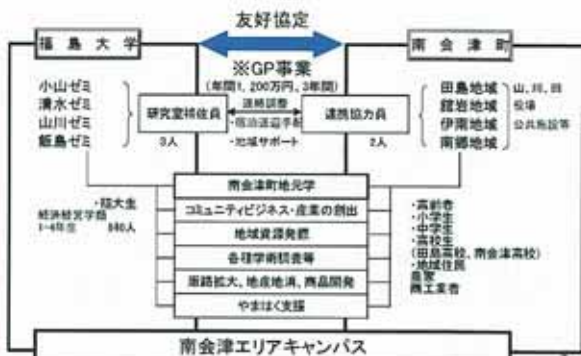


図2 地域参画専門演習の展開
①-③は地域参画専門演習であり、3セメスターから8セメスターまで連続して実施する。
④は学生主体のサークルであり、全学の学生が参加している。地域企業の運営にあたって連携をとる

5

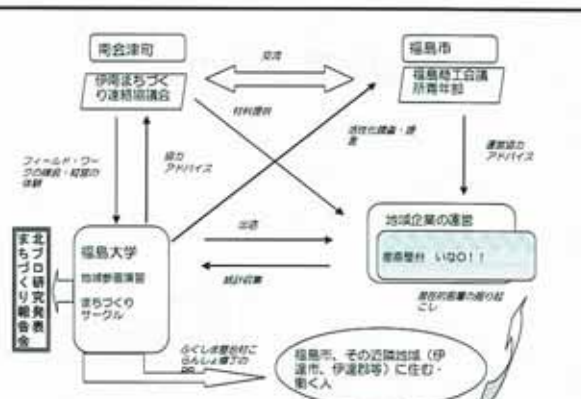


図3 地域・産業連携による学生参画型地域企業の取組

6